

Title	聖学院大学総合研究所紀要総目次(第 16 号～第 23 号, 1999～2001)
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.23 別冊, 2002.3 : 77-85
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/repos/modules/xoonips/detail.php?item_id=4097
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

聖学院大学総合研究所紀要総目次

(第16号～第23号, 1999～2001)

第16号 (1999)

- 序 大 木 英 夫
ハーバーマスの「公共性」概念とその問題点 清 水 多 吉
マックス・ウェーバーと日本近代化論
ヴォルフガング・シュベントカー (近藤正臣訳)
テーマとしての『国家と宗教』
——内村・南原・大塚—— 柳 父 圀 近
福祉社会におけるコミュニティとアソシエーション 富 沢 賢 治
ニーバー兄弟以降のキリスト教社会倫理 セオドア・ウェーバー (相澤一訳)
加藤仁平著『和魂漢才説』をめぐる 標 宮 子
日本の神霊語彙の源
——大野晋著『一語の辞典 神』(三省堂一九九七)を読む——
須 山 名保子
社会保障改革における市場の役割: 日英比較研究から 郡 司 篤 晃
ジョン・ロック著『コリント人への第一の手紙注解』(上)
相澤 一・大澤 麦・川添美央子 訳
近代世界とプロテスタンティズム
ヴォルフハルト・パネンベルクの視点 深 井 智 朗
ジョン・ロック『寛容書簡』とその文脈 大 澤 麦
患者(エホバの証人)の意思に反して輸血をした医師らの法的責任(二)
——東京高裁判決平成一〇年二月九日について 市 川 昇
エホバの証人の排斥(除名)処分に対する司法審査 市 川 昇
現代日本の都市開発について
——都市化地域の活性化と市民参加のあり方—— 桑 島 裕

児童福祉分野におけるケースマネジメント導入に関する政策的研究

——長期入院児を事例として——

竹 淵 香 織

Christian Social Ethics Since Reinhold and H. Richard Niebuhr

Theodore R. Weber

Unraveling the Mystery of Motivation in EFL Education

Dean Warren Sotherden

English Immersion Environment Emulation in Japan

Robert H. Long

第17号 (1999)

序——日本でクロムウェル生誕四百年を記念する

大 木 英 夫

マックス・ウェーバーのロシア革命論

——ロシアにおける国家と市民——

肥 前 栄 一

グローバリゼーションと市民社会

——「市民社会」概念の系譜とその展開——

飯 坂 良 明

韓国における国家と市民社会

池 明 観

オリヴァー・クロムウェル生誕四百年記念シンポジウム

クロムウェルと現代 ——二十一世紀への視座——

今 井 宏

澁 谷 浩

岩 井 淳

大 澤 麦

大 木 英 夫

日本思想史における『日本書紀』

——『日本書紀』注釈史をめぐって——

渡 辺 正 人

学術シンポジウム

都市型高齢福祉の課題と展望

岡 沢 憲 美

佐々木 信 夫

村 田 幸 子

大 塚 健 司

斉 藤 弥 生
牛 津 信 忠
佐々木 信 夫

自然と nature

——自然概念の考察——

柳 父 章

ギリシャ教父と自然世界

——サクラメンタルな自然観と人間中心主義——

土 井 健 司

近代自然科学の成立事情

渡 辺 正 雄

アメリカ社会の形成と「媒介機構」

柴 田 史 子

吉野作造におけるデモクラシーとキリスト教

近 藤 勝 彦

それは最後の旗印なのか？

——ヘーゲルにおける「近代世界とプロテスタンティズム」という問題——

深 井 智 朗

『サヴォイ宣言』研究

——『ウェストミンスター信仰告白』との比較——（その1）

佐 野 正 子

周辺ヨーロッパにおけるルーマン理論の受容

（圓岡偉男訳）

スカンディナビアにおけるルーマン理論の受容 ヤン・I・ヨエンヒル

スロベニアにおけるルーマン理論の受容 イヴァン・ベルニック

ボルート・ロンツェビッチ

ポルトガルにおけるルーマン理論の受容 ピエール・ギーベンティフ

Aliens and Citizens: Competing Models of Political Involvement

in Contemporary Christian Social Ethics

David Oki Ahearn

Incidental Learning of Vocabulary and Comprehension

in Listening to a Lecture with Vocabulary Explanations

Mayumi Tsubaki

The Amish Commitment To Pacifism

Dean Warren Sotherden

1998年度政治政策学研究科修士論文テーマ一覧

第18号 (2000)

序

大 木 英 夫

「市民社会」をどう問題にするか

——「市民社会と国家の役割の研究」第一期のまとめとして——

田 中 豊 治

共同研究「市民社会と国家の役割の研究」

——これまでの研究成果とこれからの研究課題——

大 澤 麦

オランダにおけるキリスト教民主同盟の成り立ちと基本思想

ヘンドリック・ウォードリンク (谷口一郎訳)

古典としての『古事記』『日本書紀』

——「日本神話」の成立——

神野志 隆 光

国際シンポジウム

南北朝鮮の現状を語る —— 統一に向かう朝鮮半島 ——

康 仁 徳

小田川 興

鐸 木 昌 之

ジョン・ロック著『コリント人への第一の手紙注解』(下)

相澤 一・大澤 麦・川添美央子・野呂有子訳

ウェストミンスター神学会議をめぐって

松 谷 好 明

現代技術と人工物環境 —— 「安全性」をめぐって ——

標 宣 男

統合に向かうヨーロッパ —— ヨーロッパ連合の精神的基礎 ——

フリードリヒ・ヴィルヘルム・グラーフ (松谷好明訳)

パウル・ティリッヒにおける創造と終末

——「本質から実存へ」、そして「実存から本質へ」なのか? ——

深 井 智 朗

『サヴォイ宣言』研究

——『ウェストミンスター信仰告白』との比較(その2) 佐 野 正 子

ラインホルド・ニーバー

ラングドン・ギルキー (久保島理恵訳)

自然の神学

ラングトン・ギルキー (佐野正子訳)

教育政策における道德教育の変遷について

須 藤 澄 夫

History and Basic Ideas of the Christian Democratic Party
in the Netherlands

Henk E. S. Woldring

Implementation of Vocabulary Learning Strategies in the Classroom

Mehran Sabet

Historical Motivations for Christian Education in Japan

Paul T. Shew

第19号 (2000)

序

アジアの民主主義と市民社会

前近代日本の思想・宗教複合とキリスト教

聖学院大学学術シンポジウム

東京圏の未来 さいたまの将来

大 木 英 夫

石 塚 雅 彦

黒 住 真

中 邨 章

大 森 達 也

阪 本 克 己

大 田 弘 子

井 上 繁

平 修 久

小 林 良 彰

中 邨 章

NPOの現状と課題

——大学の役割との関わりで——

ジョン・ロック著『コリント人への第二の手紙注解』

相澤 一・大澤 麦・川添美央子・野呂有子訳

伊豆大島の現状と新たな開発の方向性

平 修 久

初期ギリシアの詩と思想における自然観と倫理思想の接点

自然法思想の源流をめぐる一考察

佐 野 好 則

法の神学と法人類学

深 井 智 朗

動物に道徳的権利を？

——現代功利主義による動物への権利拡張論に対する一批判——

谷 口 隆一郎

An Introduction to Some Important Writings Relevant to EFL

and ESL Education

Dean Warren Sotherden

第20号 (2000)

序 ——奉仕者としての大学——

飯 坂 良 明

福祉国家と市民社会

——アマルティア・センと「第三の道」の批判——

毛 利 健 三

「大学とNPO」の現状と課題

——「地域を考える大学」の模索——

中 村 陽 一

内村鑑三における「自然の神」と「歴史の神」

梅 津 順 一

学問 (Wissenschaft) としての神学

——近代以後の神学における「神学と自然科学」との関係をめぐる——

深 井 智 朗

太宰治とキリスト教

西 谷 博 之

ホーレス・ブッシュネル著『キリスト教養育』翻訳 (その1)

森 田 美千代

法実証主義をめぐる論争の神学的次元

深 井 智 朗

ビザンツ、ロシアの都市史と市民社会

飯 島 康 夫

環境に調和した大島再開発の意識調査

平 修 久

馬 場 健

The Role of Discourse Analysis in EFL Education

Dean Warren Sotherden

Motivation for English Study in Japan From Junior High School

and Into University: Its Transformational Cycle

and Enhanced Description From Recent Motivation Research

Robert H. Long

Teaching as a Creative Process

Paul Lyddon & David Gill

The Effects of the Lecture Outline and the Graphic Organizer

upon EFL Lecture Listening Comprehension

Mayumi Tsubaki

第21号 (2001)

序 —あらためて「近代とは何か」という問い— 大 木 英 夫
ホッブズと「市民社会論」

—個人・社会・国民国家— 田 中 浩
東中欧の民主化と市民社会論の新展開 川 原 彰

ジョン・ロック著『ローマ人への手紙注解』（上）

相澤 一・大澤 麦・川添美央子・野呂有子訳
書評論文『教会—近代ヨーロッパの探究③』について

—ピューリタニズム研究の視点から— 松 谷 好 明
国家あらずして、資本主義は存在しない！

—法と力、国家と多国籍企業のグローバリゼーション—
クリストファー・ポールマン（大藤紀子訳）

人権に関する研究課題（perspectives）
クリストファー・ポールマン（大藤紀子訳）

現代寛容論の一断面

—J・ウォードロンならびにS・メンダスの

J・ロック解釈を手がかりに— 大 澤 麦
ホーレス・ブッシュネル著『キリスト教養育』第七章翻訳 森 田 美千代
パウル・ティリッヒの神学における存在論の基礎構造 相 澤 一
子どもの人権をめぐる制度と実際 中 島 明 子

The Japanese Identity Crisis: Friend Or Foe Of English Language Teachers?

Dean Warren Sotherden

National Cultural Differences as Related to Organizations Evert D. Osburn

第22号 (2001)

序 —非暴力と無抵抗の間— 飯 坂 良 明
イングランド革命と国家の変容 今 井 宏

クエンティン・スキナーとイギリス革命

——『自由主義に先立つ自由』とその周辺——

EU 政体規範 (constitution) 研究の現状と展望

リチャード・バクスターの「聖なるコモンウェルス論」

仏教の人間観をめぐって

ホーレス・ブッシュネル著『キリスト教養育』第一章翻訳

法の神学的基礎付けと法の普遍妥当性の問題

アルベルトウス・マグヌスの都市論

——アウクスブルクでの連続説教を中心に——

P・T・フォーサイスにおけるインディペンデンシーの影響

割引・減免制度からみた日本と諸外国の障害者の生活保障

The Use of Japanese in English Oral Communication Classes

Is Learning English Truly Advantageous For The Japanese?

Dean Warren Sotherden

Pioneer Pentecostal Missionaries in Japan

Paul Tsuchido Shew

二〇〇〇年度修士論文テーマ一覧

アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科

政治政策学研究科

第 23 号 (2001)

序 —— 問題は社会的慣性である ——

イギリス市民社会の歴史的特質

バブルを拒んだ経営者の魂

——大塚久雄の「歴史と現在」——

規範内部の「規範違反」

——サラン (Sarran) 事件判決 (CE, Ass., 30-10-1998) をめぐって——

ジョン・ロック著『ローマ人への手紙注解』(中)

相澤 一・大澤 麦・川添美央子・野呂有子訳

梅 津 順 一

中 村 民 雄

今 関 恒 夫

菅 野 覚 明

森 田 美千代

深 井 智 朗

田 中 史 高

高 萬 松

吉 田 滋

Mehran Sabet

Dean Warren Sotherden

Paul Tsuchido Shew

大 木 英 夫

関 口 尚 志

関 口 尚 志

大 藤 紀 子

聖学院大学学術シンポジウム

政令指定都市の課題と展望 — さいたま市の将来を考える —

松 本 英 昭
佐々木 信 夫
中 邨 章
竹 内 佐和子
樋 爪 龍太郎
佐々木 信 夫
上 田 賢 治

神道の人間観

世界の財政再建手法に学ぶ

— 中央政府と地方政府は何をすべきか —

ホーレス・ブッシュネル著『キリスト教養育』第二章翻訳
ビスマルクをめぐる二人の神学者

永 久 寿 夫
森 田 美千代

— ハルナックとオーファーベック —

エーミル・ブルンナーにおける『正義』と『永遠』の再考

— 大学の「新しい事態」を迎えて —

深 井 智 朗
鈴 木 順 一

Cross-Cultural Education And Intercultural Communication

Dean Warren Sotherden

Toward a Transformational-Transcendental Leadership Model

of Intercultural Communication

Evert D. Osburn

電子掲示板の政策立案情報源としての有効性について

平 修 久

A Comparison of the 1995 and 2001 Seigakuin University

English Education Needs Analysis Questionnaire Results

Evert D. Osburn